

危機の時代と岸田政権の対応力

—コロナ・ウクライナ・参院選の行方—

ノンフィクション作家、評論家

塩田^{しお}

田^た

潮^{うしお}

- *不吉な黄金の3年
- *お手本は小渊恵三さん
- *何を考えているかわからない
- *参院選後の政策課題
- *先の見えない立憲民主党
- *まだ未熟な維新の会
- *自公過半数は不変
- *同床異夢の改憲勢力
- *防衛整備は中身が大事
- *野党再生のチャンス



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

毎年お呼びしておりますので、改めてご紹介する必要もないかもしれませんが、塩田潮さんにおいていただきました。1946年のお生まれで、慶應義塾大学ご卒業後、『文藝春秋』を経て、今はフリーで活動されておられます。

政治家、政界につきましてもたいへん深い知識をお持ちでございます。もうすぐ参議院選挙があるというこの時点で、この選挙をどういうふうに見たらいいのか、それから選挙後、今、黄金の3年と言われるかもしれませんが、岸田政権がどうなるのか、そういったことも含めて今日は政治のお話をじっくりお聞きしたいと思います。それでは塩田さん、よろしくお願いいたします。（拍手）

不吉な黄金の3年

塩田 ワクチン3度目をもう終了していますので、申し訳ありませんがノーマスクでお話をさせていただきますと思います。

前回こちらでお話をさせていただきましたのが去年の7月9日でした。去年の段階では総理大臣は菅義偉さんです。まさか1年後に別の人に代わっているということもあり想像していませんでした。けれども、ご承知のような展開になりました。岸田文雄さんが登場されて8カ月あまり。それで、参議院選挙まであと2週間と迫っています。岸田さんはいへん好調のようであります。最近のメディアの内閣支持率の調査では岸田内閣6月の内閣支持率は48・